



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

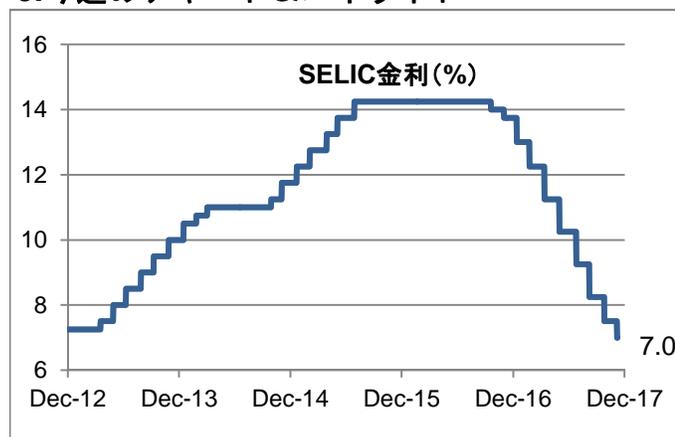
			12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2450	3.2430	3.2350	3.2930	3.2940	+0.0010
	BRL/JPY	Spot	34.70	34.74	34.72	34.35	34.46	+0.11
	EUR/USD	Spot	1.1856	1.1818	1.1792	1.1774	1.1768	-0.0006
	USD/JPY	Spot	112.62	112.60	112.29	113.14	113.51	+0.37
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.819	6.797	6.782	6.782	6.756	-0.026
	Future	1Year(p.a.)	7.000	6.991	6.982	7.006	6.956	-0.049
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.621	2.589	2.466	2.470	2.493	+0.023
	USD	1Year(p.a.)	2.710	2.639	2.570	2.590	2.622	+0.032
株式	Bovespa指数		73,090.19	73,546.19	73,268.38	72,424.13	72,739.38	+315.25
CDS	CDS Brazil 5y		166.98	160.97	163.00	165.86	166.92	+1.06
商品	CRB指数		188.687	187.468	184.724	184.471	185.016	+0.545

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは年金改革法案の年内下院通過への期待感が後退したことで11月初め以来となる3.3180まで下落。
- 週初のレアルは3.2620で寄り付いた。前週末、年金改革法案の下院投票に向けてテメル大統領は各政党との協議を継続。投票への期待感が維持されたことで週前半のレアルは堅調に推移し、高値3.2210まで上昇した。然しながら週後半に入るとマイヤ下院議長が議会で可決に必要な票数を確保出来ていないと発言したことで、レアルは安値3.3180まで急落。同議長は法案の下院投票を18日の週に延長する考えを示し、テメル大統領も同意した。これらの動きを受けて軟調な動きが続いたレアルは結局3.2940で越週。なお、6日のマーケット引け後に伯中銀は0.50%の利下げを発表したが、年金改革の行方に注目が集まる中でレアル相場の反応は限られた。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.73%に据え置かれ、2018年は2.58%から2.60%へ上方修正された。インフレ率予想は2017年が3.06%から3.03%へ下方修正されたが、2018年は4.02%で据え置き。為替レートは2017年末が3.25、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 8日、11月の伯インフレ率(IPCA)が発表された。前年比+2.80%と前月の+2.70%から上昇したものの引き続き低い水準が継続。2017年の通年ベースで伯中銀・財務省が設定する目標レンジの下限(3.0%)を下回る可能性が出ている。
- 8日に発表された11月の米雇用統計は非農業部門雇用者数が22.8万人増と市場予想の19.5万人上回ったが、平均時給の伸びは前月比+0.2%と予想の+0.3%を下回り、強弱が入り混じる内容となった。発表直後はドル売りの反応が見られたが、すぐに値を戻した。

3. 今週のチャート&ハイライト



COPOMは来年2月の追加利下げを示唆

5-6日に開催されたCOPOMでは市場予想通り0.50%の利下げを決定し、政策金利を7.50%から7.00%へ引き下げた。引き続き低位で安定しているインフレ率を背景に、昨年10月以降の利下げ幅は合計で7.25%となった。声明文では来年2月の次回会合で緩やかな追加利下げを行うことを示唆したが、同時に今回のガイダンスは経済状況の基本シナリオやリスクバランスの影響を受けやすいことに言及。年金改革法案の可決が困難となった場合は追加利下げを行わない可能性もあり、今後の見通しについては市場でも見方が分かれている。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.25－3.35

来週のレアルは年金改革法案の動きを睨みながら軟調な展開を予想する。同法案の下院投票は再来週まで延期される予定。伯政府は引き続き年内の下院可決を目指すと思われるが、日程の調整が困難となりつつある中、レアルは軟調な動きが予想される。下院可決には本会議で2度の投票を行い、60%(308票)の賛成を獲得する必要があるが、現状の票読みでは290弱に留まっており、来週も票獲得状況が注目される。尚、議会は休会のため22日が年内最終日となる。

来週、国内では今週行われたCOPOMの議事録が12日に公表される。声明文では次回会合での追加利下げが示唆されたが、実際に利下げを行うにあたって伯中銀が想定している判断基準の詳細を確認したい。また米国では12-13日にFOMCが開催予定。市場では0.25%の利上げがほぼ確実視されているほか、FOMCメンバーによる四半期毎の経済見通しが発表される。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	0.37%	0.39%	0.36%
ブラジル	IBGEインフレ率(IPCA(前月比))	0.35%	0.28%	0.42%
ブラジル	IBGEインフレ率(IPCA(前年比))	2.88%	2.80%	2.70%
米	非農業部門雇用者数変化	195k	228k	261k
米	失業率	4.1%	4.1%	4.1%
米	ミシガン大学消費者マインド	99.0	96.8	98.5

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	12/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Dec	0.65%	-0.02%
ブラジル	12/11	貿易収支(週次)	Dec 10	--	--
ブラジル	12/11	税収	Nov	--	121144m
ブラジル	12/12	FIPE CPI-週次	Dec 7	0.0	0.0
米	12/12	PPI 最終需要(前月比)	Nov	0.4%	0.4%
ブラジル	12/13	小売売上高(前月比)	Oct	0.2%	0.5%
ブラジル	12/13	広義小売売上高(前月比)	Oct	-0.1%	1.0%
米	12/13	消費者物価指数(前月比)	Nov	0.4%	0.1%
米	12/13	FOMC政策金利(上限)	Dec 13	1.50%	1.25%
ブラジル	12/14	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Dec	0.79%	0.24%
米	12/14	小売売上高速報(前月比)	Nov	0.3%	0.2%
ブラジル	12/15	IBGEサービス部門売上高 前年比	Oct	-0.9%	-3.2%
ブラジル	12/15	CNI産業信頼感	Dec	--	56.5
米	12/15	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Dec	18.0	19.4
米	12/15	鉱工業生産(前月比)	Nov	0.3%	0.9%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。